

第8回プログラム委員会アジェンダ＋メモ

2022-09-28

開催日：2022年9月28日(水)

開始・終了時刻：18:00-

参加者：上村、加藤、加藤(総務省)、兼保、河内、木村、浜田、高松、堀田、森下、山崎

関連資料

- プログラム構成
- タスクリスト [20220607_PC tasks.xlsx](#)
- [プログラム構成・進行表案](#)

1. 状況確認

1.1 タスクリストの確認

1.2 第7回以降の進捗

- 第1回アナウンス実施(9/12)
- イベント申し込み状況：会場8名、遠隔16名(9/28 16:56現在)

1.3 メール議事の結果確認

2022-09-09

- #1: 後援
→活発化チームmatterとして、プログラム委員会では判断保留。
- #2: Day1とDay2のあいさつ
→活発化チームmatterとして、プログラム委員会では判断保留。
- #3: 総務省のあいさつ
→活発化チームmatterとして、プログラム委員会では判断保留。
- #4: 12日のアナウンスの是非
→9/12に開催概要の第1弾アナウンスを流すことで合意。
- #5: 参加申し込み期限
→Day0前日の9/25を申し込み期限とする。システム上、必要に応じて延長する(例えば終了直前まで)ことは可能。

2022-09-19

- #1: 後援
→活発化チームとしての方針や立場が不明確につき、プログラム委員会としての対応検討できず。
- #2: Day1とDay2のあいさつ
→活発化チームとしての方針や立場が不明確につき、プログラム委員会としての対応検討できず。

- #3: 総務省のあいさつ
→活発化チームとしての方針や立場が不明確につき、プログラム委員会としての対応検討できず。
- #4: UN IGF Secretariatからのビデオメッセージ
→活発化チームとしては受け入れる方向である由。それを受けて今後具体化について検討が必要。
- #5: セッションの物理的設計
→審議未了

2. プログラムの準備状況

- あいさつ ※UN/IGF事務局からのメッセージの扱いを含む
 - UNからのメッセージ: 英語のテキストを事前にもらって和訳字幕付けをする方向に9/16活発化チーム会合ではなかった。(山崎)→2、3分程度のグリーティング依頼+イベントの概要を付けて送る、初日の挨拶その1の中に入れる
 - 総務省: プログラム委員会としてはご挨拶いただきたい。当日都合がつく人が挨拶できると思う(総務省加藤)
 - その他: 協議会関係、経団連はどうか? 打診に時間がかかるかもしれない(加藤)協議会関係者としての経団連として、前村より打診する。経団連が駄目な場合は、協議会の他の関係者に打診する。
- 後援
 - 総務省: 初回申請のため、書類を整える必要がある。申請者はJAIPA+JPNICで出す
 - 記述、特に2団体と活発化チームの関係を工夫して作文し、総務省に確認する(木村・山崎)
- テーマセッション
 - テーマセッション①「電気通信事業法の改正とインターネット・ガバナンス」
 - モデレーター1名+スピーカー1名計2名だけ確定
 - テーマセッション②「オンライン海賊版の現状と、対策の現在地点」
 - 登壇者6名、さらに1名追加して7名になる予定だが大丈夫なのか、というコメントがあった。
 - テーマセッション③「スプリンターネット2.0」
 - 計4名登壇者
 - テーマセッション④「日本のインターネット(通信網)は大丈夫か?」
 - モデレーター1名
 - スピーカー3名
 - 計4名1人だけ遠隔
 - 会場設営の都合があるので、会場に何名登壇者が来るか、遠隔登壇は何名か確定いただきたい
 - 未確定の部分は、引き続きフォローアップ担当に確定に向けてがんばっていただく
- オープニングセッション
 - Terms and conditions may applyのフィージビリティについて立石さんに確認(上村に)
- 特別セッション

- 3名での打ち合わせはこれから
- プレイベント
 - 内容について書き物を作成して示したい(兼保)
 - 出演料について交渉が進んでいる

3. 会場(物理的、論理的)の準備、役割の確認

- 会場諸元
 - キャパシティ:101名収容可能(ただし50名上限で参加登録受付)
 - パネリスト用および配信用に机1列つづす必要あり
 - ネットワーク:
 - 帯域:会場全体で2ギガビット/秒
 - 提供様式:配信用に有線LANが出ている、無線LANも無料で参加者全員分をカバーすると思われる
 - 音響:有線マイク2本、無線マイク3本、会場音響システムにPC1台を接続しZoom会議テスト済み
 - 電源:テーブルタップを6~8個用意可能
- 進行、司会、リモートモデレーター(R/M)など(要否含む)
 - 1. 進行係:要・不要/誰がやるか
 - 2. 司会:誰がやるか
 - 3. リモートモデレーター
 - 4. タイムキーパー:要・不要/方式/誰がやるか
 - 5. 現地会場受付係
 - 1と2は兼ねられる、3と4は兼ねられると思われる
 - 次回第25回活発化チーム会合で募集する(上村)
- 混乱を防ぐため、何か事務局に依頼したいことが発生しそうなら、まずプログラム委員会に提案することとする。

4. 今後の会議日程

- 次回以降、当日までの会議日程(活発化チーム親会は10月3日(月)17-19時)
 - 第25回活発化チーム終了後、残れるプログラム委員が残ってtodoを確認することとする
 - 2回開催するべく日程調整する(ドライランは別途調整)
- ドライランの日付→メール上で回覧
 - ドライランで何を確認するのか、によってやること、押さえるリソースが変わってくる
 - JPNIC・JAIPAでロジ配信関係で何を確認するかを相談する
 - 開催日程はJPNIC・JAIPAで相談して決め、メーリングリストで回覧する

5. 広報、「エンゲージメント」

- 開催案内第2弾(内容、タイミング、送り先)
- 今後のアナウンス日程案
 - 第2弾:プログラム確定後速やかに(遅くとも10月3日の週?)

- →各セッションの時間割を追加する、
- Day 0については登壇者の情報などが追加できそう
- 登壇者名を出してよいか、セッション担当に聞く(山崎)
- 第3弾: イベント直前(10/17の週?)
- 学生が参加する場合の所属組織ステークホルダー種別は? →学生を種別として追加する
- 送り先として、Webメディアに無料で投げ込めるのでやってみてはどうか:
 - URLに一言だけ付けて送ればよい
 - 開催の意義、関係性などを作文して付けた方がよい→協議会候補団体向け文書から拝借できるのでは? →Google Docに貼り付けて(前村/山崎)、プログラム委員会で編集する
 - IGFとは何か、を書いた方がよい→過去何人位集まった、どういう性格のイベント、なども入れた方がよい→協議会候補団体向け文書から抽出する

6. その他

(特になし)